



平成 27~31 年度 文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究（研究領域提案型）領域番号：2704

## J-Physics : 多極子伝導系の物理



## 平成 29 年度領域全体会議

平成 30 年 3 月 15 日（木）13:00 ~ 3 月 17 日（土）15:50  
東京大学物性研究所 6F 大講義室  
(千葉県柏市柏の葉 5 丁目 1-5)



3 月 15 日（木）

## オープニング

13:00 – 13:15 播磨尚朝（神戸大理）はじめに

## A01 計画研究

座長：中辻 知

13:15 – 14:40	中辻 知（東大物性研） 中西 良樹（岩手大理工） 小林 寿夫（兵県大物質） 榎原 俊郎（東大物性研） 佐藤 卓（東北大多元研） 鈴木 通人（理研 CEMS） 有田 亮太郎（理研 CEMS）	局在多極子と伝導電子の相関による新しい量子現象 超音波で探る $\text{PrV}_2\text{Al}_{20}$ の低温秩序相と電子状態 $\text{YbAlB}_4$ の低温・高圧力下 $^{174}\text{Yb}$ 放射光メスバウアーフィルタ法による研究 $\text{EuPtSi}$ の磁気相図 Nonreciprocal magnons in noncentrosymmetric magnets クラスター多極子による反強磁性相の巨視的秩序パラメータ $\text{Mn}_3\text{Sn}$ における大きな磁気光学効果に対するクラスター多極子理論
---------------	--	--

14:40 – 15:00 休憩

## A01 公募研究 1

座長：榎原 俊郎

15:00 – 15:20	出口 和彦（名大院理）	正 20 面体準結晶の磁性と超伝導
15:20 – 15:40	渡辺 真仁（九大基礎科学）	$\text{Yb}$ 系準結晶と近似結晶における新しい量子臨界現象
15:40 – 16:00	関山 明（阪大基礎工）	角度分解内殻光電子線二色性による占有 4f 軌道対称性の解明
16:00 – 16:20	古賀 昌久（東工大理）	ハニカム格子上多軌道模型におけるスピノン軌道相互作用の効果

16:20 – 16:40 休憩

## A01 公募研究 2

座長：中西 良樹

16:40 – 17:00	椎名 亮輔（琉球大理）	$\text{Sm}$ 化合物における軌道依存型混成による秩序化現象と重い電子状態
17:00 – 17:20	大槻 純也（東北大理）	量子多体物理におけるスペースモデリングの方法
17:20 – 17:40	坂井 徹（兵庫県立大物質理）	低次元量子反強磁性体のスピノンネマティック相
17:40 – 18:00	森 道康（原子力機構先端研）	拡張多極子によるフォノンホール効果

3月16日（金）

**招待講演****座長：柳瀬 陽一**

9:15 – 9:55 伊藤 哲明（東京理科大理） 単体 Te における電流誘起バルク磁性

9:55 – 10:15 休憩

**C01 計画研究****座長：網塚 浩**

10:15 – 11:30 網塚 浩（北大理）

反強磁性金属における電気磁気効果の検証

藤 秀樹（神戸大理）

UNi<sub>4</sub>B の常磁性およびトロイダル磁気秩序状態の B-NMR による研究

中尾 裕則（KEK-IMSS）

Resonant x-ray scattering study on hybridized orbital states in d- and f-electron system

高阪 勇輔（岡大基礎研）

無機キラル磁性体の不斉結晶育成

楠瀬 博明（明大理工）

拡張多極子による交差相関結合

御領 潤（弘前大理工）

Kane-Mele 金属におけるカイラル d-波超伝導と表面自発スピノ分極: SrPtAs を視野に入れて

**C01 公募研究 1****座長：藤 秀樹**

11:30 – 11:50 大串 研也（東北大理）

奇パリティ多極子秩序伝導系の開拓

11:50 – 12:10 大原 繁男（名工大院工）

反転中心のない結晶構造の YbNi<sub>3</sub>Al<sub>9</sub> および関連物質の磁気的性質

12:10 – 12:30 高畠 敏郎（広大院先端物質）

ジグザグ鎖近藤半導体の反強磁性秩序に対する一軸圧力効果

12:30 – 13:40 記念撮影・昼食

13:40

**ポスターセッション**

16:10

**C01 公募研究 2****座長：楠瀬 博明**

16:10 – 16:30 品岡 寛（埼大理）

動的平均場近似に基づく第一原理計算手法の開発と応用

16:30 – 16:50 古賀 幹人（静大教育）

結晶場多重項に起因する非フェルミ流体状態における多極子物理

16:50 – 16:55 小休憩

**D01 計画研究****座長：野原 実**

16:55 – 18:00 野原 実（岡大基礎研）

5d 遷移金属を含む超伝導体の開発

鬼丸 孝博（広大院先端研）

Pr 系の非クラマース二重項における相転移と非フェルミ液体的挙動

水口 佳一（首都大物理）

重金属を含む層状超伝導体の探索

秋光 純（岡大基礎研）

Trial to Carrier-doping in Sr<sub>2</sub>IrO<sub>4</sub>/Ba<sub>2</sub>IrO<sub>4</sub>

播磨 尚朝（神戸大理）

反転対称の無い系やウラン化合物の電子構造

18:30 – 20:30 懇談会（東大物性研究所カフェテリア）

3月17日（土）

**D01 公募研究****座長：水口 佳一**

9:30 – 9:50	高林 康裕（東北大 AIMR）	Emergent electronic phenomena in hybrid f/p-electron molecular materials
9:50 – 10:10	阿部 伸行（東大新領域）	3d 電子系における高次多極子に由来する非対角応答
10:10 – 10:30	岡本 佳比古（名大院工）	Ir・Pt 化合物における新超伝導体探索
10:30 – 10:50	宮坂 茂樹（阪大院理）	遷移金属ダイカルコゲナイトの異常物性
10:50 – 11:10	休憩	

**B01 計画研究****座長：青木 大**

11:10 – 12:25	青木 大（東北大金研） 石田 憲二（京大理） 神戸 振作（原子力機構先端研） 井澤 公一（東工大理） 松田 達磨（首都大院理工） 柳瀬 陽一（京大理）	B01 計画研究のこれまでの成果と f 電子系化合物の超伝導探索 重い電子人工超格子の核磁気共鳴 URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> の NMR による研究 U <sub>1-x</sub> Th <sub>x</sub> Be <sub>13</sub> の輸送係数にみられる非フェルミ液体的挙動 SmTr <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> (Tr:遷移金属) における重い電子状態の特徴について 奇パリティ多極子秩序・超伝導の分類学と電磁応答
12:25 – 13:35	昼食	

**B01 公募研究****座長：石田 憲二**

13:35 – 13:55	服部 一匡（首都大院理工）	異方的四極子 RKKY 相互作用と磁場中強四極子秩序
13:55 – 14:15	池田 浩章（立命館理工）	多軌道超伝導体の分類とその応用
14:15 – 14:35	藤森 伸一（原子力機構）	3 次元 ARPES による強相関ウラン化合物の電子状態
14:35 – 14:55	野尻 浩之（東北大金研）	URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> および関連化合物の強磁場相
14:55 – 15:15	野島 勉（東北大金研）	電場誘起超伝導体における増強された常磁性極限臨界磁場の直接観測
15:15 – 15:35	大貫 慎睦（琉大理）	立方晶化合物の特異なフェルミ面

**クロージング**

15:35 – 15:50	評価委員コメント 領域代表挨拶
---------------	--------------------

## ポスターセッション (3月16日 13:40 - 16:10)

P01:	金杉 翔太	京大理	Spin-Orbit Coupled Ferroelectric Superconductor
P02:	石塚 淳	京大理	局所反転対称性のない系における奇 parity 多極子揺らぎと超伝導
P03:	本山 岳	島根大総合理	新しい重い電子系化合物 $\text{Ce}_3\text{TiBi}_5$ の物性測定
P04:	坂本 直樹	京大理	$\text{URu}_2\text{Si}_2$ の超伝導相におけるトポロジカル端状態
P05:	梅尾 和則	広大自然セ	12 GPa までの交流法比熱測定によるキラル磁性体 $\text{YbNi}_3\text{Ga}_9$ の圧力誘起磁気秩序相の研究
P06:	齋藤 開	北大理	$\text{CeRu}_2\text{Al}_{10}$ における電流誘起磁化現象
P07:	水戸 肇	兵庫県大院物質理	Sm 化合物で観測される特異な 4f 電子二重性
P08:	三宅 和正	阪大先端強磁場	$\text{Ce}_x\text{La}_{1-x}\text{Cu}_{5.62}\text{Au}_{0.38}$ ( $x = 0.02 - 0.10$ ) で観測された非従来型非フェルミ液体的振る舞いの理論
P09:	谷口 貴紀	東大物性研	四極子秩序相を持つ $\text{PrTi}_2\text{Al}_{20}$ の異方的強四極子間相互作用 : Al-NMR と磁化による研究
P10:	池田 曜彦	東大物性研	コバルト酸化物におけるスピンと軌道の多極子秩序
P11:	松田 康弘	東大物性研	$\text{YbB}_{12}$ の c-f 混成ギャップの磁場制御と磁場誘起一近藤金属状態
P12:	角田 峻太郎	京大理	角運動量 $j_z$ に依存する超伝導ポイントノード — $\text{UPt}_3$ , $\text{UBe}_{13}$ , $\text{SrPtAs}$ などへの適用 —
P13:	富田 崇弘	東大物性研	ワイル磁性体 $\text{Mn}_3\text{Sn}$ における異常ホール効果と磁化
P14:	Qu Danru	東大物性研	Inverse spin Hall effect in Mn-Sn amorphous alloy thin film
P15:	真砂 全宏	京大院理	強磁性超伝導体 UCoGe の圧力下超伝導の研究
P16:	日高 宏之	北大理	局所空間反転対称性の破れた $\text{SmBe}_{13}$ の磁気構造に関する研究
P17:	渡邊 光	京大理	反強磁性体ドメインスイッチングに関する対称性の考察
P18:	大岩 陸人	明大理工	ホールドープした単層 $\text{MoS}_2$ における超伝導の理論
P19:	速水 賢	北大理	Microscopic Description of Electric and Magnetic Toroidal Multipoles in Hybrid Orbitals
P20:	和田 泰地	名大院工	1 次元テルル化物 $M_4\text{SiTe}_4$ ( $M = \text{Ta}, \text{Nb}$ ) の熱電特性
P21:	北川 俊作	京大理	FFLO state in $\text{CeCu}_2\text{Si}_2$ revealed by Cu-NMR
P22:	鬼丸 孝博	広大院先端研	Pr1-2-20 系における非フェルミ液体的挙動
P23:	常盤 欣文	アウグスブルク大	$\text{PrIr}_2\text{Zn}_{20}$ における四極子臨界磁場近傍での異常な熱膨張
P24:	大槻 匠	東大物性研	バイロクロア型 $\text{Pr}_2\text{Ir}_2\text{O}_7$ 薄膜における磁気抵抗の磁場・角度依存性
P25:	柳澤 達也	北大理	パルス強磁場下超音波測定による $\text{URu}_2\text{Si}_2$ における多極子不安定性の探索
P26:	船島 洋紀	神戸大院理	軌道近藤効果に適したバンド構造と実例
P27:	平井 大悟郎	東大物性研	スピン軌道結合金属 $\text{Cd}_2\text{Re}_2\text{O}_7$ におけるスピン分裂した Fermi 面の観測

P28: 肥後 友也	東大物性研	Magnetic octupole induced large magneto-optical Kerr effect in the AF Weyl metal Mn <sub>3</sub> Sn
P29: 植木 輝	北大理	s 波超伝導体の孤立渦における渦糸フロー・ホール効果の理論
P30: 松林 和幸	電通大	PrT <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> (T = Ti, V) の高圧下における四極子秩序と超伝導
P31: 酒井 明人	東大物性研	Anomalous Hall effect and magnetoresistance in the nodal metallic spin ice Pr <sub>2</sub> Ir <sub>2</sub> O <sub>7</sub>
P32: 呉 昌根	岡大基礎研	Time-dependent reentrant superconductivity in nonequilibrium KBi <sub>2</sub>
P33: 工藤 一貴	岡大基礎研	Low temperature synthesis and specific heat study of Chevrel phase compounds Mo <sub>6</sub> Ch <sub>8</sub> (Ch = S, Se, Te)
P34: 工藤 一貴	岡大基礎研	Superconductivity in Mg <sub>2</sub> Ir <sub>3</sub> Si: an ordered variant of the hexagonal Laves phase MgZn <sub>2</sub>
P35: 後藤 陽介	首都大	SnAs 層を含む新しい層状超伝導体 NaSn <sub>2</sub> As <sub>2</sub> と元素置換効果
P36: 唐 楠	東大物性研	Temperature and Field Dependence of Lattice Elasticity in Quantum Spin Ice Material Pr <sub>2</sub> Zr <sub>2</sub> O <sub>7</sub>
P37: 星 和久	首都大物理	BiCh <sub>2</sub> 系超伝導体 LaO <sub>0.6</sub> F <sub>0.4</sub> Bi(S,Se) <sub>2</sub> の Se 同位体効果
P38: 曽我部 遼太	首都大物理	Ce を含む BiS <sub>2</sub> 系超伝導体の新規合成
P39: 小林 達生	岡大自然科学	Cd <sub>2</sub> Re <sub>2</sub> O <sub>7</sub> の高圧下ホール効果
P40: 橋高 俊一郎	東大物性研	Field-orientation dependence of a ferroquadrupole order in PrTi <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> investigated by thermal measurements
P41: 井倉 拓哉	岡大基礎研	Superconductivity in IrIn <sub>2</sub> with iridium infinite chains: A comparative study of CoIn <sub>2</sub> and IrIn <sub>2</sub>
P42: Chen Taishi	東大物性研	Intrinsic Origin Investigation on AHE and Thermoelectric Behavior
P43: 八城 愛美	北大理	Odd-parity multipoles by orbital hybridization in noncentrosymmetric tetragonal system
P44: 鈴木 慎太郎	東大物性研	価数揺動系 $\alpha$ -YbAlB <sub>4</sub> の異常金属状態に対する非弾性中性子散乱研究
P45: 荒木 幸治	防衛大応物	六方晶 Yb <sub>1-x</sub> Lu <sub>x</sub> CuGe の磁性
P46: 野間 雄一朗	神戸大理	強磁性超伝導体 UGe <sub>2</sub> の圧力下 <sup>73</sup> Ge-NQR による磁気ゆらぎの研究
P47: 永岡 靖浩	東大物性研	低温熱膨張および磁歪測定による四極子近藤格子 PrV <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> における多極子秩序の研究
P48: 堀江 理恵	岡大異分野基礎研	Superconductivity in the laves phase SrIr <sub>2</sub>
P49: 柳瀬 陽一	京大理	UPt <sub>3</sub> における非共型トポロジカル超伝導
P50: 小林 夏野	岡大基礎研	化学ドープによる binary chalcogenides の超伝導転移温度上昇
P51: 中村 直貴	首都大理工	遍歴弱強磁性体充填スケッテルダイト化合物 LaFe <sub>4</sub> As <sub>12</sub> の高純度単結晶育成と dHvA 効果
P52: 大村 瑠美	首都大理工	大きな単位胞を取る三元化合物 R-Ir-Sn (R:希土類) の単結晶育成と構造解析
P53: 柳 有起	明大理工	スレーブボソン平均場近似による多軌道周期アンダーソン模型の解析

P54:	宮脇 瑠美佳	首都大理工	四極子近藤格子系 $\text{Pr}Tr_2\text{Al}_{20}$ ( $Tr = \text{Mo}, \text{W}$ ) の単結晶育成と低温物性測定
P55:	Ikhlas Muhammad	東大物性研	The Effect of Doping on the Transport Properties of the Non-collinear Antiferromagnet $\text{Mn}_3\text{Sn}$
P56:	小手川 亘	神戸大理	GaTa <sub>4</sub> Se <sub>8</sub> の NMR 測定
P57:	仲嶺 元輝	京大理	NMR による人工超格子 CeCoIn <sub>5</sub> /CeRhIn <sub>5</sub> の研究
P58:	松井 隆志	神戸大院理	NMR によるテトラヘドライト Cu <sub>12</sub> Sb <sub>4</sub> S <sub>13</sub> におけるダイナミクスの研究
P59:	藤原 賢二	島根大院総理工	重い電子系超伝導体 CeCu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> の高圧・強磁場下の NMR
P60:	仲村 愛	東北大金研	単結晶 YbNiSn の磁性と磁気相図
P61:	田端 千紘	KEK IMSS	トロイダル秩序物質 UNi <sub>4</sub> B の単結晶 X 線構造解析
P62:	Maurya Arvind	東北大金研	反転対称性を持たない単結晶 URhSn の圧力下の磁気相転移
P63:	西川 尚	東大物性研	ワイル磁性体薄膜の熱電効果
P64:	久保 徹郎	岡山理大理	NMR/NQR Spectrum Analysis and High-Field Magnetization in $\text{Pr}T_2\text{Al}_{20}$ ( $T = \text{Nb}, \text{Ta}$ )

FY2015~2019 MEXT KAKENHI on Innovative Areas #2704



## J-Physics : Physics of Conductive Multipole Systems

### FY 2017 Annual Meeting



Thu. March 15, 13:00 ~ Sat. March 17, 15:50  
 Large Meeting Room, 6F, The Institute of Solid State Physics  
 The University of Tokyo  
 (5-1-5 Kashiwanoha, Kashiwa, Chiba 277-8581 Japan)



March 15 (Thu.)

**Opening**

13:00 – 13:15	Hisatomo Harima <i>Kobe University</i>	Opening Remarks
---------------	---	-----------------

**A01 Planned Research****Chair: Satoru Nakatsuji**

13:15 – 14:40	Satoru Nakatsuji <i>The University of Tokyo</i>	Novel quantum phenomena induced by the correlation between localized multipoles and conduction electrons
	Yoshiki Nakanishi <i>Iwate University</i>	Low-Temperature Elastic Properties of $\text{PrV}_2\text{Al}_{20}$ probed by ultrasonic measurements
	Hisao Kobayashi <i>The University of Hyogo</i>	Synchrotron radiation based $^{174}\text{Yb}$ Mössbauer spectroscopic study of $\text{YbAlB}_4$ under pressure at low temperature
	Toshiro Sakakibara <i>The University of Tokyo</i>	Magnetic Phase Diagram of $\text{EuPtSi}$
	Taku J. Sato <i>Tohoku University</i>	Nonreciprocal magnons in noncentrosymmetric magnets
	Michi-To Suzuki <i>RIKEN AICS</i>	Macroscopic order parameters for antiferromagnetic phases by cluster multipole moments
	Ryotaro Arita <i>RIKEN AICS</i>	Cluster multipole theory for large magneto-optical Kerr effect in $\text{Mn}_3\text{Sn}$

14:40 – 15:00	Coffee Break
---------------	--------------

**A01 Invited Research 1****Chair: Toshiro Sakakibara**

15:00 – 15:20	Kazuhiko Deguchi <i>Nagoya University</i>	Magnetism and Superconductivity of Icosahedral Quasicrystals
15:20 – 15:40	Shinji Watanabe <i>Kyushu Institute of Technology</i>	New quantum criticality in Yb-based quasicrystal and approximant crystal
15:40 – 16:00	Akira Sekiyama <i>Osaka University</i>	Probing occupied 4f-orbital symmetry by linear dichroism in angle-resolved core-level photoemission
16:00 – 16:20	Akihisa Koga <i>Tokyo Institute of Technology</i>	Role of the spin-orbit coupling in the Kugel-Khomskii model on the honeycomb lattice

16:20 – 16:40	Coffee Break
---------------	--------------

**A01 Invited Research 2****Chair: Yoshiki Nakanishi**

16:40 – 17:00	Ryousuke Shiina <i>University of the Ryukyus</i>	Ordering and fermi-liquid Properties due to orbital-dependent hybridization in Sm compounds
17:00 – 17:20	Junya Otsuki <i>Tohoku University</i>	Methods of sparse modeling in quantum many-body physics
17:20 – 17:40	Toru Sakai <i>The University of Hyogo</i>	Spin Nematic Physics in Low-Dimensional Quantum Antiferromagnets
17:40 – 18:00	Michiyasu Mori <i>Japan Atomic Energy Agency</i>	Phonon Hall effect by extended cluster multipoles

March 16 (Fri.)

**Invited Talk****Chair: Youichi Yanase**

9:10 – 9:55	Tetsuaki Itou <i>Tokyo University of Science</i>	Current-induced bulk magnetization in elemental tellurium
-------------	---	---

9:55 – 10:15 Coffee Break

**C01 Planned Research****Chair: Hiroshi Amitsuka**

10:15 – 11:30	Hiroshi Amitsuka <i>Hokkaido University</i>	Tests for Magnetoelectric Effects on Antiferromagnetic Metals
	Hideki Tou <i>Kobe University</i>	B-NMR study on paramagnetic and toroidal magnetic ordered states in UNi <sub>4</sub> B
	Hironori Nakao <i>KEK IMSS</i>	Resonant x-ray scattering study on hybridized orbital states in d- and f- electron system
	Yusuke Kousaka <i>Hirosshima University</i>	Homo-chiral crystallization in inorganic chiral magnetic materials
	Hiroaki Kusunose <i>Meiji University</i>	Cross-correlated coupling based on augmented multipoles
	Jun Goryo <i>Hirosaki University</i>	Surface properties of a chiral d-wave superconductor with hexagonal symmetry

**C01 Invited Research****Chair: Hideki Tou**

11:30 – 11:50	Kenya Ohgushi <i>Tohoku University</i>	Exploration of materials with odd-parity multipole order
11:50 – 12:10	Shigeo Ohara <i>Nagoya Institute of Technology</i>	Magnetic properties of YbNi <sub>3</sub> Al <sub>9</sub> and related materials with a non-centrosymmetric crystal structure
12:10 – 12:30	Toshiro Takabatake <i>Hirosshima University</i>	Uniaxial pressure effect on the antiferromagnetic order in the Kondo semiconductors with zigzag chains

12:30 – 13:40 Group Photo • Lunch

13:40

**Poster Session**

16:10

**C01 Invited Research****Chair: Hiroaki Kusunose**

16:10 – 16:30	Hiroshi Shinaoka <i>Saitama University</i>	Development of ab-initio method based on dynamical mean-field approximation and applications
16:30 – 16:50	Mikito Koga <i>Shizuoka University</i>	Multipole physics in non-Fermi-liquid state due to a crystal-field multiplet
16:50 – 16:55	Short Break	

**D01 Planned Research****Chair: Minoru Nohara**

16:55 – 18:00	Minoru Nohara <i>Okayama University</i>	Exploration of novel superconductors with 5d transition metal
	Takahiro Onimaru <i>Hirosshima University</i>	Two-channel Kondo Behaviors and Unconventional Phase transitions in Pr-based non-Kramers doublet systems
	Yoshikazu Mizuguchi <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Exploration for new layered superconductors with heavy elements
	Jun Akimitsu <i>Okayama University</i>	Trial to Carrier-doping in Sr <sub>2</sub> IrO <sub>4</sub> /Ba <sub>2</sub> IrO <sub>4</sub>
	Hisatomo Harima <i>Kobe University</i>	Electronic structure of noncentrosymmetric system and Uranium compounds

18:30 – 20:30 Get-Together and Free Discussion (ISSP Cafeteria)

March 17 (Sat.)

**D01 Invited Research****Chair: Yoshikazu Mizuguchi**

9:30 – 9:50	Yasuhiro Takabayashi <i>Tohoku University</i>	Emergent electronic phenomena in hybrid f-/p-electron molecular materials
9:50 – 10:10	Nobuyuki Abe <i>The University of Tokyo</i>	Odd parity multipole ordering and off-diagonal response in 3d electron system
10:10 – 10:30	Yoshihiko Okamoto <i>Nagoya University</i>	Search for New Ir- and Pt-Based Superconductors
10:30 – 10:50	Shigeki Miyasaka <i>Osaka University</i>	Anomalous Electronic Properties in Transition Metal Dichalcogenides
10:50 – 11:10	Coffee Break	

**B01 Planned Research****Chair: Dai Aoki**

11:10 – 12:25	Dai Aoki <i>Tohoku University</i>	Results of B01 group and search for superconductivity in f-electron systems
	Kenji Ishida <i>Kyoto University</i>	NMR study on the heavy-fermion superlattices
	Shinsaku Kambe <i>Japan Atomic Energy Agency</i>	NMR study of URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub>
	Koichi Izawa <i>Tokyo Institute of Technology</i>	Non Fermi liquid behavior in transport coefficients of U <sub>1-x</sub> Th <sub>x</sub> Be <sub>13</sub>
	Tatsuma D. Matsuda <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Characteristic Heavy Electron State in SmTr <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> ( <i>Tr</i> : transition metal)
	Youichi Yanase <i>Kyoto University</i>	Classification theory of odd-parity multipole order/superconductivity and electromagnetic responses

12:25 – 13:35 Lunch

**B01 Invited Research****Chair: Kenji Ishida**

13:35 – 13:55	Kazumasa Hattori <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Anisotropic quadrupole RKKY interactions under magnetic fields: ferro quadrupole order in PrTi <sub>2</sub> Al <sub>20</sub>
13:55 – 14:15	Hiroaki Ikeda <i>Ritsumeikan University</i>	Classification of multi-orbital superconductivity and its application
14:15 – 14:35	Shin-ichi Fujimori <i>Japan Atomic Energy Agency</i>	Electronic structures of strongly correlated uranium compounds studied by three-dimensional ARPES
14:35 – 14:55	Hiroyuki Nojiri <i>Tohoku University</i>	High Magnetic Field Phases of URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> and Related Compounds
14:55 – 15:15	Tsutomu Nojima <i>Tohoku University</i>	Direct Observation of Enhanced Paramagnetic-Limited Critical Magnetic Field in Electric-Field-Induced Superconductors
15:15 – 15:35	Yoshichika Ōnuki <i>University of the Ryukyus</i>	Unique Fermi Surface Properties in Cubic Compounds

**Closing**

15:35 – 15:50	Advisors' Comments
	Closing Remarks by Area Representative

## Poster Session (March 16, 13:40 - 16:10)

P01:	Shota Kanasugi <i>Kyoto University</i>	Spin-Orbit Coupled Ferroelectric Superconductor
P02:	Jun Ishizuka <i>Kyoto University</i>	Odd-parity multipole fluctuation and superconductivity in locally noncentro-symmetric system
P03:	Gaku Motoyama <i>Shimane University</i>	Magnetic properties of the new heavy fermion compounds Ce <sub>3</sub> TiBi <sub>5</sub>
P04:	Naoki Sakamoto <i>Kyoto University</i>	The topological edge state of URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> in superconducting state
P05:	Kazunori Umeo <i>Hiroshima University</i>	Pressure-induced magnetic phase in the chiral magnet YbNi <sub>3</sub> Ga <sub>9</sub> : AC-calorimetric measurements up to 12 GPa
P06:	Hiraku Saito <i>Hokkaido University</i>	Current-induced magnetization on CeRu <sub>2</sub> Al <sub>10</sub>
P07:	Takeshi Mito <i>The University of Hyogo</i>	Novel dual character of 4f electrons observed in Sm compounds
P08:	Kazumasa Miyake <i>Osaka University</i>	Theory for Unconventional Non-Fermi Liquid Behaviors Observed in Ce <sub>x</sub> La <sub>1-x</sub> Cu <sub>5.62</sub> Au <sub>0.38</sub> ( $x = 0.02 - 0.10$ )
P09:	Takaki Taniguchi <i>The University of Tokyo</i>	Anisotropic ferro-quadrupole interactions in quadrupole ordered system PrTi <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> : Al-NMR and Magnetization Studies
P10:	Akihiko Ikeda <i>The University of Tokyo</i>	Multipole order of spin and orbitals in cobaltites
P11:	Yasuhiro H. Matsuda <i>The University of Tokyo</i>	Magnetic-field-induced Kondo metal state by closing the c-f hybridization gap in YbB <sub>12</sub>
P12:	Shuntaro Sumita <i>Kyoto University</i>	Superconducting point nodes depending on angular momentum $j_z$ —Application to UPt <sub>3</sub> , UBe <sub>13</sub> , SrPtAs, etc.—
P13:	Takahiro Tomita <i>The University of Tokyo</i>	Anomalous Hall effect and magnetization in Weyl Magnet Mn <sub>3</sub> Sn
P14:	Qu Danru <i>The University of Tokyo</i>	Inverse spin Hall effect in Mn-Sn amorphous alloy thin film
P15:	Masahiro Manago <i>Tokyo Institute of Technology</i>	Study of the superconductivity of the ferromagnetic superconductor UCoGe under pressure
P16:	Hiroyuki Hidaka <i>Hokkaido University</i>	Study of Magnetic Structure in SmBe <sub>13</sub> with broken local-inversion symmetry
P17:	Hikaru Watanabe <i>Kyoto University</i>	Symmetry analysis of electrical switching of antiferromagnet
P18:	Rikuto Oiwa <i>Meiji University</i>	Theory of superconductivity in hole-doped monolayer MoS <sub>2</sub>
P19:	Satoru Hayami <i>Hokkaido University</i>	Microscopic Description of Electric and Magnetic Toroidal Multipoles in Hybrid Orbitals
P20:	Taichi Wada <i>Nagoya University</i>	Thermoelectric properties of one dimensional telluride $M_4\text{SiTe}_4$ ( $M = \text{Ta, Nb}$ )
P21:	Shunsaku Kitagawa <i>Kyoto University</i>	FFLO state in CeCu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> revealed by Cu-NMR
P22:	Takahiro Onimaru <i>Hiroshima University</i>	Non-Fermi Liquid Behaviors in Pr 1-2-20 Systems
P23:	Yoshifumi Tokiwa <i>University of Augsburg</i>	Anomalous thermal expansion near the quadrupolar critical field in PrIr <sub>2</sub> Zn <sub>20</sub>
P24:	Takumi Ohtsuki <i>The University of Tokyo</i>	Field and angular dependent magnetoresistance in Pr <sub>2</sub> Ir <sub>2</sub> O <sub>7</sub> thin films
P25:	Tatsuya Yanagisawa <i>Hokkaido University</i>	Search for Multipolar Instability in URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> Studied by Ultrasonic Measurements under Pulsed Magnetic Field

P26:	Hiroki Funashima <i>Kobe University</i>	Electronic structures suitable for the orbital Kondo effect and actual materials
P27:	Daigoro Hirai <i>The University of Tokyo</i>	Observation of spin-split Fermi surfaces in the spin-orbit coupled metal Cd <sub>2</sub> Re <sub>2</sub> O <sub>7</sub>
P28:	Tomoya Higo <i>The University of Tokyo</i>	Magnetic octupole induced large magneto-optical Kerr effect in the AF Weyl metal Mn <sub>3</sub> Sn
P29:	Hikaru Ueki <i>Hokkaido University</i>	Theory of the flux-flow Hall effect in an isolated vortex of an s-wave superconductor
P30:	Kazuyuki Matsubayashi <i>The University of Electro-Communications</i>	High pressure studies of quadrupole order and superconductivity in PrT <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> (T = Ti, V)
P31:	Akito Sakai <i>The University of Tokyo</i>	Anomalous Hall effect and magnetoresistance in the nodal metallic spin ice Pr <sub>2</sub> Ir <sub>2</sub> O <sub>7</sub>
P32:	Chang-geun Oh <i>Okayama University</i>	Time-dependent reentrant superconductivity in nonequilibrium KBi <sub>2</sub>
P33:	Kazutaka Kudo <i>Okayama University</i>	Low temperature synthesis and specific heat study of Chevrel phase compounds Mo <sub>6</sub> Ch <sub>8</sub> (Ch = S, Se, Te)
P34:	Kazutaka Kudo <i>Okayama University</i>	Superconductivity in Mg <sub>2</sub> Ir <sub>3</sub> Si: an ordered variant of the hexagonal Laves phase MgZn <sub>2</sub>
P35:	Yosuke Goto <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Effect of elemental substitution for SnAs-based novel layered superconductor NaSn <sub>2</sub> As <sub>2</sub>
P36:	Nan Tang <i>The University of Tokyo</i>	Temperature and Field Dependence of Lattice Elasticity in Quantum Spin Ice Material Pr <sub>2</sub> Zr <sub>2</sub> O <sub>7</sub>
P37:	Kazuhisa Hoshi <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Se Isotope Effect in LaO <sub>0.6</sub> F <sub>0.4</sub> Bi(S,Se) <sub>2</sub> Superconductor
P38:	Ryota Sogabe <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Synthesis of Bi-chalcogenide superconductor with Ce-based blocking layer
P39:	Tatsuo C. Kobayashi <i>Okayama University</i>	Hall effect in Cd <sub>2</sub> Re <sub>2</sub> O <sub>7</sub> under high pressure
P40:	Shunichiro Kittaka <i>The University of Tokyo</i>	Field-orientation dependence of a ferroquadrupole order in PrTi <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> investigated by thermal measurements
P41:	Takuya Ikura <i>Okayama University</i>	Superconductivity in IrIn <sub>2</sub> with iridium infinite chains: A comparative study of CoIn <sub>2</sub> and IrIn <sub>2</sub>
P42:	Chen Taishi <i>The University of Tokyo</i>	Intrinsic Origin Investigation on AHE and Thermoelectric Behavior
P43:	Megumi Yatsushiro <i>Hokkaido University</i>	Odd-parity multipoles by orbital hybridization in noncentrosymmetric tetragonal systems
P44:	Shintaro Suzuki <i>The University of Tokyo</i>	The inelastic neutron scattering study on the strange metal behavior in the intermediate valence system $\alpha$ -YbAlB <sub>4</sub>
P45:	Koji Araki <i>National Defense Academy</i>	Magnetic properties of Hexagonal Yb <sub>1-x</sub> Lu <sub>x</sub> CuGe
P46:	Yuichiro Noma <i>Kobe University</i>	<sup>73</sup> Ge-NQR studies under pressure on magnetic fluctuations of ferromagnetic superconductor UGe <sub>2</sub>
P47:	Yasuhiro Nagaoka <i>The University of Tokyo</i>	Studies of multipole order in quadrupole Kondo lattice system PrV <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> by thermal expansion and magnetostriiction
P48:	Rie Horie <i>Okayama University</i>	Superconductivity in the laves phase SrIr <sub>2</sub>
P49:	Youichi Yanase <i>Kyoto University</i>	Nonsymmorphic topological superconductivity in UPt <sub>3</sub>
P50:	Kaya Kobayashi <i>Okayama University</i>	Enhancement of $T_c$ in binary chalcogenides by chemical doping

P51:	Naoki Nakamura <i>Tokyo Metropolitan University</i>	de Hass-van Alphen effect of the itinerant weak ferromagnetic filled skutterudite LaFe <sub>4</sub> As <sub>12</sub>
P52:	Rumi Omura <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Single crystal growth and structural analysis of ternary compound <i>R</i> -Ir-Sn ( <i>R</i> : rare earth) with large unit cell
P53:	Yuki Yanagi <i>Meiji University</i>	Slave boson mean field study of multi-orbital periodic Anderson model
P54:	Rumika Miyawaki <i>Tokyo Metropolitan University</i>	Single crystal growth and low-temperature physical property measurements of quadrupolar Kondo lattice Pr <i>Tr</i> <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> ( <i>Tr</i> = Mo, W)
P55:	Ikhlas Muhammad <i>The University of Tokyo</i>	The Effect of Doping on the Transport Properties of the Non-collinear Antiferromagnet Mn <sub>3</sub> Sn
P56:	Hisashi Kotegawa <i>Kobe University</i>	NMR Study of GaTa <sub>4</sub> Se <sub>8</sub>
P57:	Genki Nakamine <i>Kyoto University</i>	NMR study on the artificial superlattice CeCoIn <sub>5</sub> /CeRhIn <sub>5</sub>
P58:	Takashi Matsui <i>Kyoto University</i>	NMR study on dynamical property of tetrahedrite Cu <sub>12</sub> Sb <sub>4</sub> S <sub>13</sub>
P59:	Kenji Fujiwara <i>Shimane University</i>	NMR study of CeCu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> under high pressure and field
P60:	Ai Nakamura <i>Tohoku University</i>	Magnetic Properties and Magnetic Phase Diagram of Single Crystalline YbNiSn
P61:	Chihiro Tabata <i>KEK IMSS</i>	X-ray Crystal Structure Analysis of Single-Crystalline UNi <sub>4</sub> B
P62:	Maurya Arvind <i>Tohoku University</i>	Magnetic Phase Transitions in Single Crystalline Non- centrosymmetric URhSn under Pressure
P63:	Takashi Nishikawa <i>The University of Tokyo</i>	Thermoelectric properties of a Weyl magnet thin film
P64:	Tetsuro Kubo <i>Okayama University of Science</i>	NMR/NQR Spectrum Analysis and High-Field Magnetization in Pr <i>T</i> <sub>2</sub> Al <sub>20</sub> ( <i>T</i> = Nb, Ta)